シリーズ

(4)

伊藤宏太郎)

財団法人 日本総合研究所

島 実郎 から現職。文部科学省中央教育審議会・国土交 国土審議会などで委員等の要職を務める。

寺島

郎氏に、西条市の取り組みについて意見をうかがいました。 三井物産戦略研究所の所長を務められ、テレビでもおなじみの寺島実 日本を代表する総合商社・三井物産。今回は、そのシンクタンクである

(アジア経済のダイナミズム)

は人一倍強い関心を持っていま 調べたことがあって、 りましたが、西条にはうかがっ とはおありですか? られますが、西条にいらしたこ 演活動で世界中を飛び回ってお 雲」で有名な秋山真之の事跡を ために司馬遼太郎の「坂の上の 所に駐在していた頃、 米国三井物産のワシントン事務 たことがありません。 寺島先生は、お仕事や講 新居浜には講演で一度参 本を書く ただ、 愛媛に

とき、苦難の時代を歩んだ先人 す。新しいまちづくりを考える 記念館をオープンする予定で この秋にはJR伊予西条駅前に られました。その功績を讃え、 学の出身です。終戦前後の一時 た十河信二先生が、旧制西条中 総裁で「新幹線の父」とよばれ る人物といえば、第4代の国鉄 市長 西条で歴史に名をとどめ への感謝を忘れてはいけないと 第2代目の西条市長も務め

いたいのですが、 歴史を学ぶ一人として伺 西条は江戸時

どう取り込むか、地方において

の商談がまとまりました。

末には複数の品目について輸出

した。それが実を結んで、

昨年

いアジア経済のダイナミズムを

のですね。 代、どのような藩でしたか? 盛んなまちに発展を遂げられた 有数の工業生産を誇り、農業も を迎え、以来200年余り3万 屋がおかれました。1670年 **市長** 1636年に伊勢神戸の 石の城下町として栄えました。 には紀州徳川家から新たに藩主 柳氏が藩主となり、 その西条市が、今は四国 西条に陣 寺島

思うからです。今後、 交通体系の中で捉えるべきだと えるとき、これからは総合的な るローカル経済を確立しようと 通の便に恵まれ、6つの空港と 代、地方自治体は自立と自活、 いうのが私のビジョンです。 で生産したものを地域で消費す しています。こうした特性を最 高速道路、本四架橋などが近接 てはなりません。幸い西条は交 自己責任と自己決定を原則とし たってきました。これからの時 をスローガンに、市政運営にあ ら経営主体となる ,地域主権: と思います。地方の可能性を考 大限に生かし、地産地消、 にまちづくりを進めていかなく て、自らの知恵と工夫で主体的 市長 私は、自立した地域が自 それはとても良い視点だ 地域

> のキーワードですね。 市長 アジアはやはりこれから フラは重要なファクターです。 も大きな課題であり、交通イン

とを物語っています。 ち中国への出国者は372万 存が、確実に変化しつつあるこ た。これは経済における対米依 人で、初めて米国への出国者 本人は1754万人。そのう (367万人)を上回りまし 昨年海外に出かけた え

するための調査研究を実施しま するために、対象は中国に焦点 物が壊滅的な打撃を受けたので 平成16年の台風災害です。 を始めています。 市長 アジアとの連携でい 柿や日本酒、 市長 中国だけではなく、近年 **寺島** アジアとの連携を、 を!!と申し上げました。 条産農産物の新たな販路を開拓 要性を訴えました。そして、 業から攻めの農業への転換の必 す。私は当時の島村農林水産大 富裕層が増えているタイ国をタ に始められているわけですね。 臣のもとにうかがい、守りの農 ·ゲットとし、地元でとれた渋 西条市でも新しい取り組み 和菓子などを輸出 キッカケは 農産 すで 西

(発想を転換し攻めの姿勢を)

市長 後はこの水資源も武器になると 所以上で湧き出しています。 す。伊藤市長のような思い切っ 着々と築きつつある。このよう アジアのハブ港としての地位を テナの取扱量で世界第5位。 す。一方韓国の釜山港は、コン た発想の転換が必要でしょう。 ジションにあることが分かりま 海沿岸地域は地理的に絶好のポ 変わりする中でみれば、瀬戸内 に貿易と物流の構造が大きく様 への投資活動を活発化していま をはじめとする極東ロシア地域 を背景に、ウラジオストック で世界一。潤沢なオイルマネー 通用しない。例えばロシアは、 意識が働いていたように思いま は、太平洋こそ表舞台という いう表現がありました。そこに 石炭をのぞく化石燃料の生産高 しかし、もうそんな概念が 地下には莫大な量の水脈が かつて表日本と裏日本と 自噴水が市街2000カ 西条は水資源も豊富で

質量ともに水資源が豊かである 域アジアとの連携を考えたとき ルギーとともに水資源をいかに 確保するかが重要なテーマ。広 くの人口を抱える中国は、エネ その通りですね。特に多

みています。